

## 平成 27 年度季節ハタハタ漁況予報

平成 27 年 11 月 21 日

秋田県水産振興センター

## 1 成熟度（生殖腺指数）の推移

ハタハタ雌の生殖腺指数（卵巣重量／内臓除去重量×100）が 20 に達した日とハタハタの初漁日との間には正の相関があり、この指数が 20 に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。本年は、生殖腺指数が 20 に達したのは 10 月 20 日と推定された（図 1）。これは最近 10 年間では平年並みである（表 1）。

## 2 初漁日の推定（初漁日：初セリが行われた日）

今期の生殖腺指数が 20 に達した日を、昨年までの生殖腺指数と初漁日との間の回帰式に当てはめると、初漁日は 11 月 29 日と推定された（図 2）。

## 3 海況と気象

観測定点（入道崎沖 5 マイル）における 11 月初めの水温観測結果では、表層から水深 300m 層までは平年並みであった（表 2、図 4）。

仙台管区气象台が 11 月 12 日に発表した 1 か月予報によれば、11 月下旬の東北日本海側の天候は、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いとなっているものの、気温は平年並みか高い見込みとなっている。これまでのところ沿岸水温は順調に低下しているが、今後、静穏な海況が続いた場合には、接岸が予想よりも遅れる可能性がある。

## 4 魚体組成

10 月までは、オス・メスとも 1 歳魚の割合が高かったが、11 月に入り 2 歳魚の割合が高まっている（図 5）。魚体は中型主体であり、小型も混じる。

## ま と め

## 【初漁日】

成熟度の推移からは 11 月 29 日（±3 日）と推定された。  
今後、静穏な海況が続いた場合は、接岸が予想よりも遅れる可能性もある。

## 【魚体組成】

中型主体であり、小型も混じる。

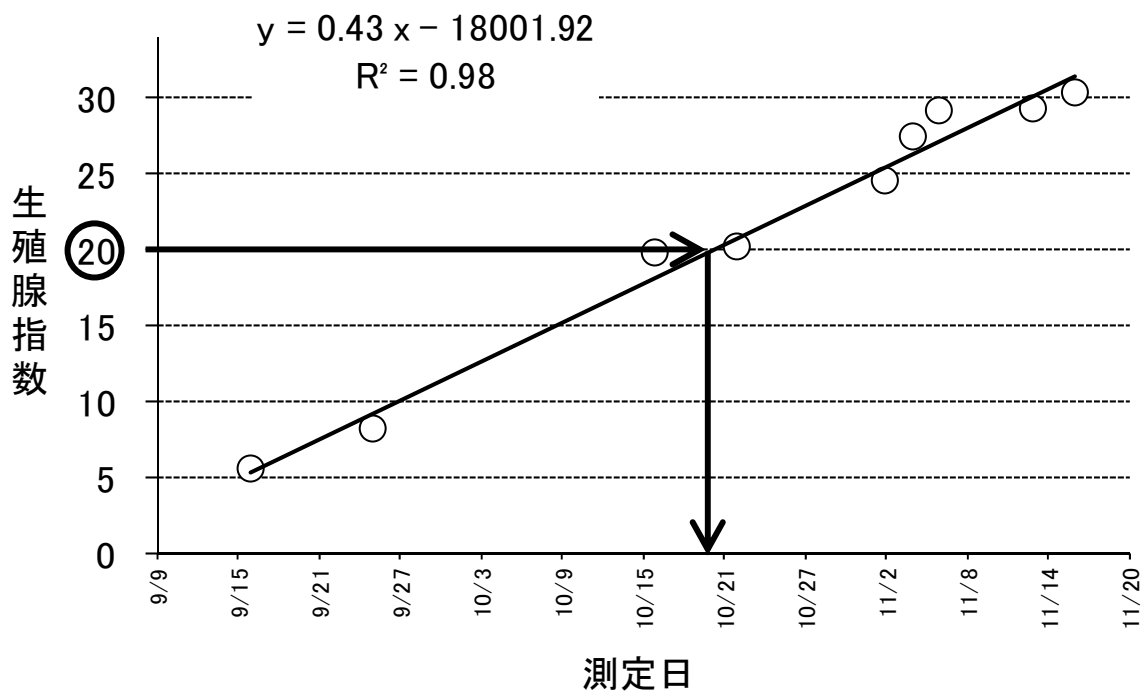


図1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数の推移(平成27年9～11月)

## 【今年の傾向】

回帰直線から、メスの生殖腺指数が20に達した日を10月20日と推定した。

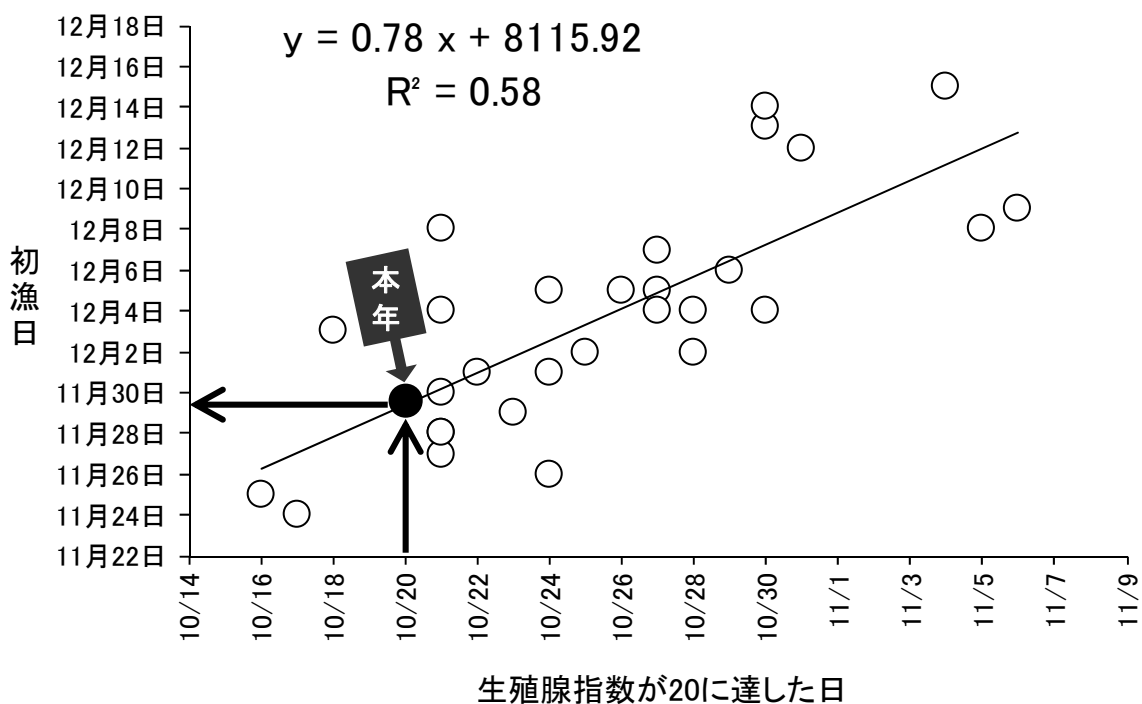


図2 生殖腺指数が 20 に達した日と初漁日との関係(○:S58～H26年)

## 【今年の傾向】

回帰直線から推定される本年のハタハタ初漁日は、11月29日となった。

表1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

| 年度   | 生殖腺指数※1が<br>20に達した日 | 予想された初漁日 |   |     | 初漁日    |
|------|---------------------|----------|---|-----|--------|
| 昭和45 | 10月18日              |          |   |     | 12月2日  |
| 46   | 10月20日              |          |   |     | 12月1日  |
| 47   | 10月27日              |          |   |     | 11月23日 |
| 48   | 10月19日              |          |   |     | 11月25日 |
| 49   | 10月24日              |          |   |     | 11月23日 |
| 50   | 10月26日              |          |   |     | 12月1日  |
| 51   | 10月26日              |          |   |     | 11月28日 |
| 52   | 10月26日              |          |   |     | 12月15日 |
| 53   | －                   |          |   |     | 12月4日  |
| 54   | 10月26日              |          |   |     | 12月17日 |
| 55   | 11月1日               |          |   |     | 12月2日  |
| 56   | 10月27日              |          |   |     | 12月11日 |
| 57   | 10月26日              |          |   |     | 12月15日 |
| 58   | 10月27日              | 12月7日    | ± | 5 日 | 12月5日  |
| 59   | 10月30日              | 12月9日    | ± | 5 日 | 12月4日  |
| 60   | 10月31日              | 12月10日   | ± | 5 日 | 12月12日 |
| 61   | 10月28日              | 12月5日    | ± | 5 日 | 12月4日  |
| 62   | 10月24日              | 12月1日    | ± | 5 日 | 12月5日  |
| 63   | 10月28日              | 12月7日    | ± | 6 日 | 12月2日  |
| 平成元  | 10月30日              | 12月8日    | ± | 4 日 | 12月13日 |
| 2    | 10月29日              | 12月7日    | ± | 4 日 | 12月6日  |
| 3    | 11月4日               | 12月12日   | ± | 4 日 | 12月15日 |
| 4※2  | 11月2日               | 12月12日   | ± | 3 日 | 12月16日 |
| 5※2  | 11月7日               | 12月17日   | ± | 3 日 | 12月13日 |
| 6※2  | 11月5日               | 12月15日   | ± | 3 日 | 12月18日 |
| 7    | 10月21日              | 12月6日    | ± | 3 日 | 12月8日  |
| 8    | 11月6日               | 12月14日   | ± | 3 日 | 12月9日  |
| 9    | 10月27日              | 12月6日    | ± | 5 日 | 12月4日  |
| 10   | 10月27日              | 12月6日    | ± | 4 日 | 12月7日  |
| 11   | 10月30日              | 12月9日    | ± | 4 日 | 12月14日 |
| 12   | 11月5日               | 12月16日   | ± | 5 日 | 12月8日  |
| 13   | 10月26日              | 12月4日    | ± | 5 日 | 12月5日  |
| 14   | 10月21日              | 12月5日    | ± | 3 日 | 11月28日 |
| 15   | 10月21日              | 12月1日    | ± | 2 日 | 11月27日 |
| 16   | 10月23日              | 12月3日    | ± | 2 日 | 11月29日 |
| 17   | 10月22日              | 11月30日   | ± | 2 日 | 12月1日  |
| 18   | 10月21日              | 12月1日    | ± | 3 日 | 12月4日  |
| 19   | 10月24日              | 12月3日    | ± | 3 日 | 11月26日 |
| 20   | 10月16日              | 11月26日   | ± | 3 日 | 11月25日 |
| 21   | 10月17日              | 11月27日   | ± | 3 日 | 11月24日 |
| 22   | 10月24日              | 12月2日    | ± | 4 日 | 12月1日  |
| 23   | 10月25日              | 12月3日    | ± | 4 日 | 12月2日  |
| 24   | 10月21日              | 11月29日   | ± | 3 日 | 11月30日 |
| 25   | 10月21日              | 11月29日   | ± | 3 日 | 11月28日 |
| 26   | 10月18日              | 11月27日   | ± | 3 日 | 12月3日  |
| H27  | 10月20日              | 11月29日   | ± | 3 日 | －      |

※1 生殖腺指数＝生殖腺重量／内臓除去重量×100

※2 網掛けは、ハタハタ全面禁漁期間中のモニタリング調査結果。

表2 観測定点での11月上旬の水温

入道崎沖 5マイル(St.1)

| 年   | 0m   | 50m  | 100m | 200m | 300m |
|-----|------|------|------|------|------|
| H7  | 19.8 | 19.6 | 14.8 | 5.5  | 1.3  |
| H8  | 18.5 | 17.8 | 14.4 | 5.3  | 1.7  |
| H9  | 18.3 | 18.4 | 17.3 | 6.2  | 1.7  |
| H10 | 19.5 | 19.4 | 17.1 | 4.3  | 1.3  |
| H11 | 18.7 | 19.2 | 18.0 | 5.0  | 1.4  |
| H12 | 20.4 | 20.2 | 14.1 | 3.1  | 1.2  |
| H13 | 17.9 | 18.6 | 13.2 | 4.4  | 1.1  |
| H14 | 18.0 | 18.7 | 17.4 | 8.3  | 1.7  |
| H15 | 17.8 | 19.3 | 19.2 | 5.9  | 1.7  |
| H16 | 18.8 | 18.3 | 11.5 | 4.1  | 1.3  |
| H17 | 19.0 | 20.3 | 15.2 | 5.1  | 1.5  |
| H18 | 19.0 | 18.3 | 14.6 | 4.2  | 1.3  |
| H19 | 19.4 | 20.1 | 15.3 | 3.4  | 1.5  |
| H20 | 19.8 | 20.5 | 15.2 | 5.9  | 1.6  |
| H21 | 18.3 | 18.2 | 15.6 | 5.3  | 1.6  |
| H22 | 18.1 | 18.3 | 13.7 | 5.0  | 1.3  |
| H23 | 19.8 | 19.4 | 15.4 | 6.3  | 1.4  |
| H24 | 17.4 | 18.6 | 16.4 | 7.5  | 2.1  |
| H25 | 19.7 | 18.7 | 12.8 | 3.2  | 1.4  |
| H26 | 18.4 | 18.2 | 15.0 | 5.5  | 1.5  |
| 平年値 | 18.5 | 18.7 | 15.5 | 5.2  | 1.4  |
| H27 | 18.6 | 18.6 | 16.2 | 5.1  | 1.5  |
| 偏差  | 9    | -13  | 47   | -11  | 52   |

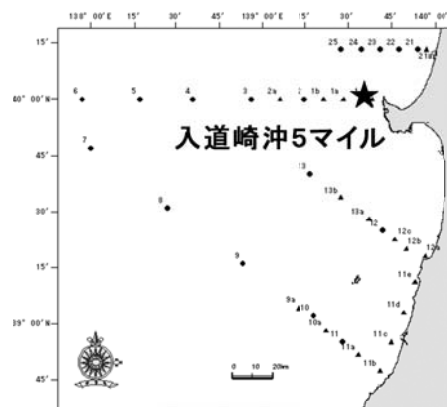


図3 水温観測地点

+200以上……はなはだ高い  
 +131~200……かなり高い  
 +61~130……やや高い  
 ±60以下……平年並み  
 -61~130……やや低い  
 -131~200……かなり低い  
 -200以下……はなはだ低い  
 ※平年値は1981~2010年の30年間の平均

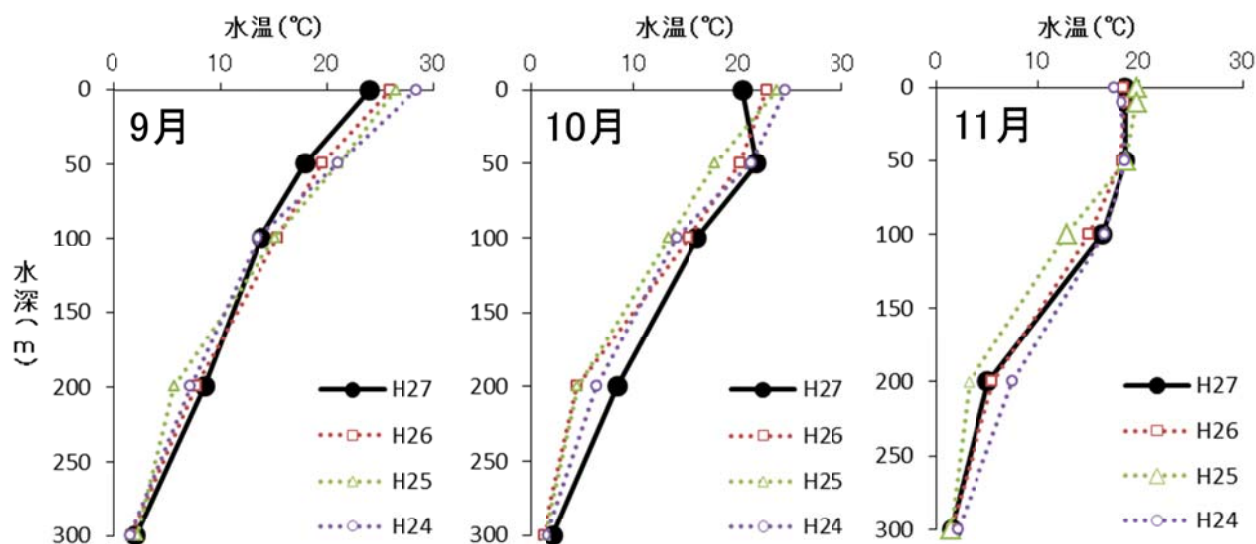


図4 入道崎沖5マイルにおける各水深の水温 (H24~27年)

● これまでのところ、今期の漁場水温はほぼ平年並みで推移している。

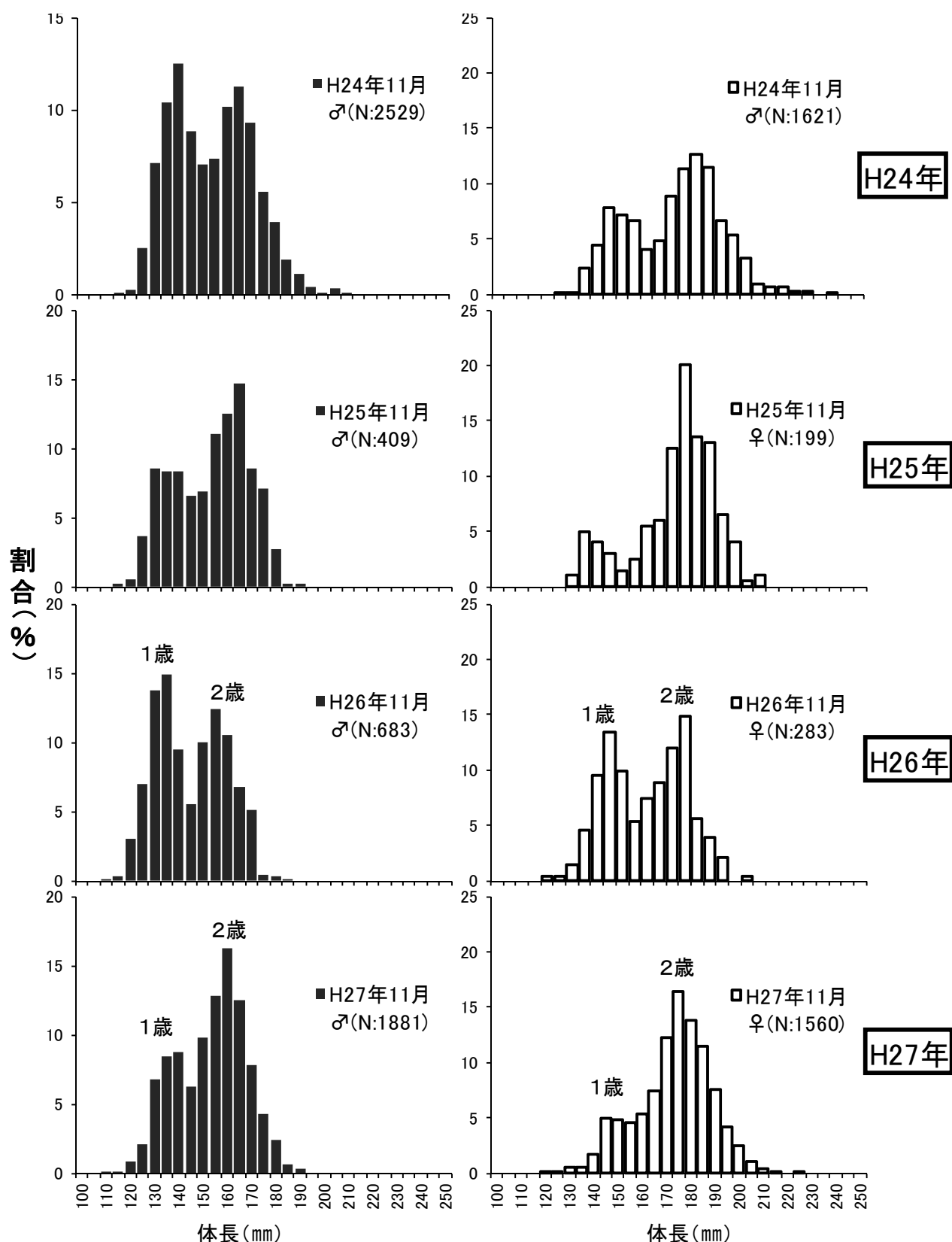


図5 11月の底びき網でのハタハタ体長組成

【今年の傾向】

- ◎ 今期は、10月～11月初めまでオス、メスともH26年生まれ(1歳)の割合が高い傾向にあったが、11月中旬からはH25年生まれ(2歳)の割合が高まっている。
- ◎ 魚体は中型主体であり、小型も混じる。

【参考資料 1】

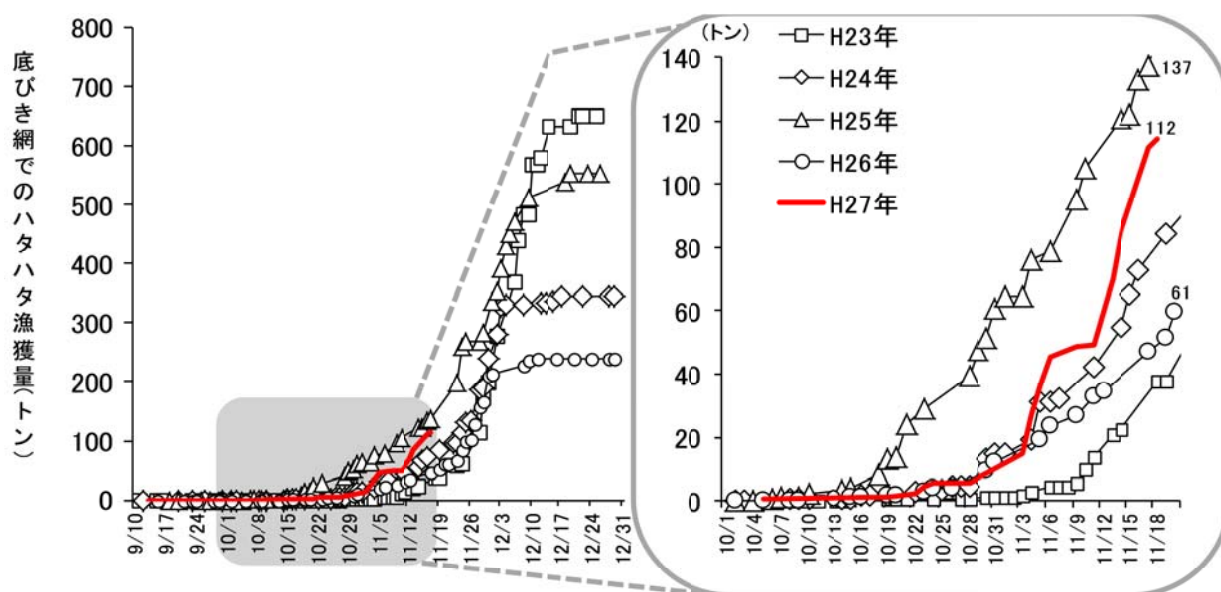


図6 底びき網でのハタハタ漁獲量の推移(累積値)

(左:9月10日~12月31日、右:10月1日~11月18日)

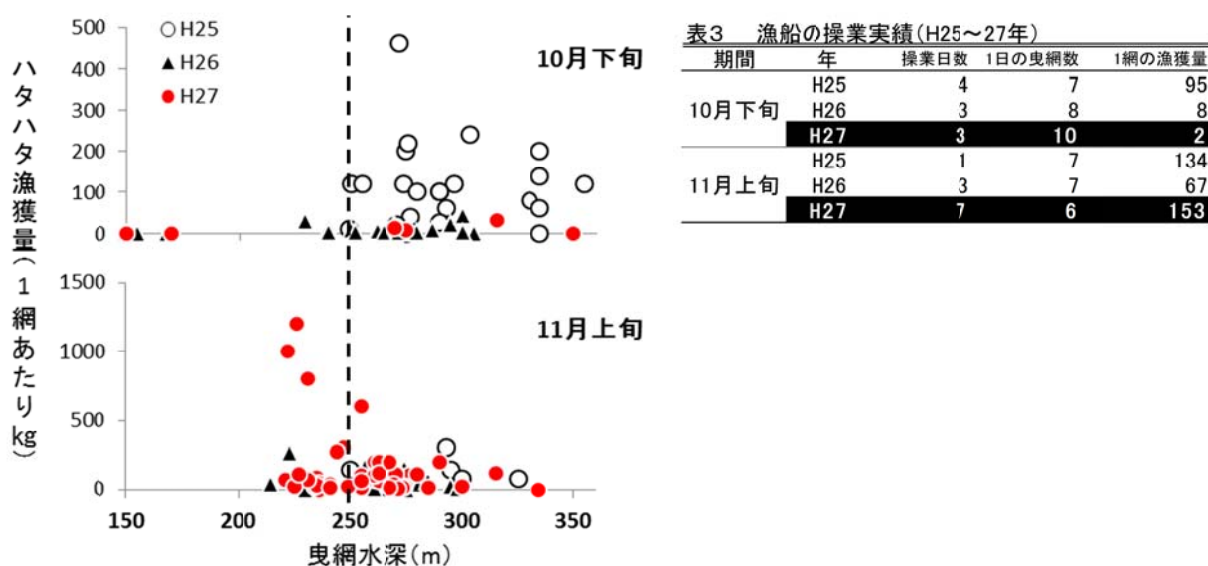


図7 10月下旬と11月上旬における男鹿半島周辺漁場での漁船の曳網水深別の漁獲量(左)と操業実績(右)

【今年の傾向】

- ◎ 9月13日から10月下旬にかけて、主に県北部沖の漁場において漁獲された。
- ◎ 11月上旬には男鹿半島西岸に漁場が形成され、出漁日数も多かったため漁獲量は大きく増加した。
- ◎ 現在の主漁場はシグレから中の根にかけての海域であり、群れの規模は水深220m前後の浅場で大きく深場には少ないことから、漁場の規模は前年より小さい可能性がある。



## 【参考資料 2】

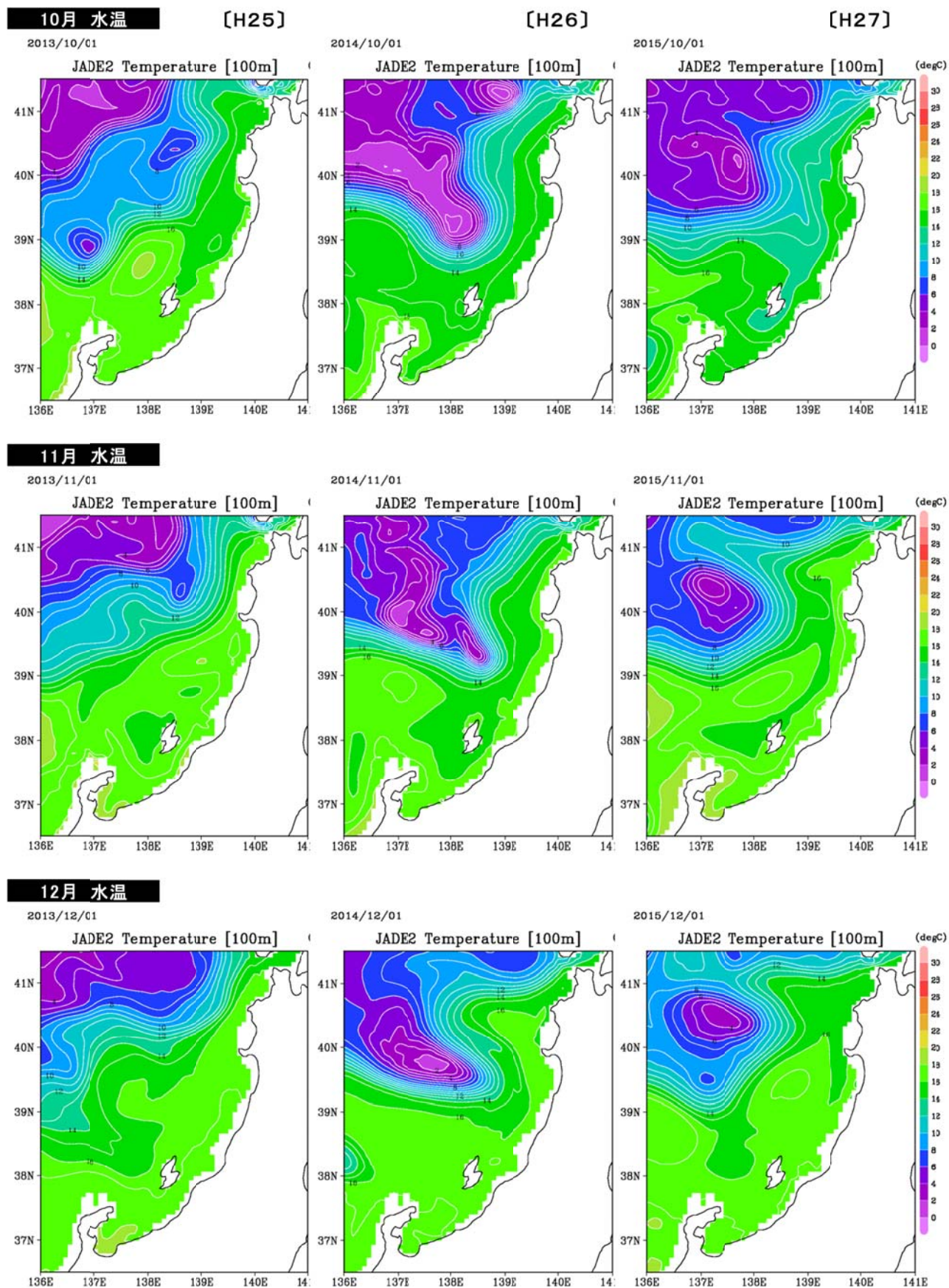
図はすべて日本海海況予報システム JADE2 より引用(<http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/>)

図 H25 年(左)、H26 年(中)、H27 年(右)の水深 100m 帯の水温分布(H27 年 12 月は予想図)

●今後の予測では、沿岸水温は接岸を妨げるほど高くなる可能性は低い。



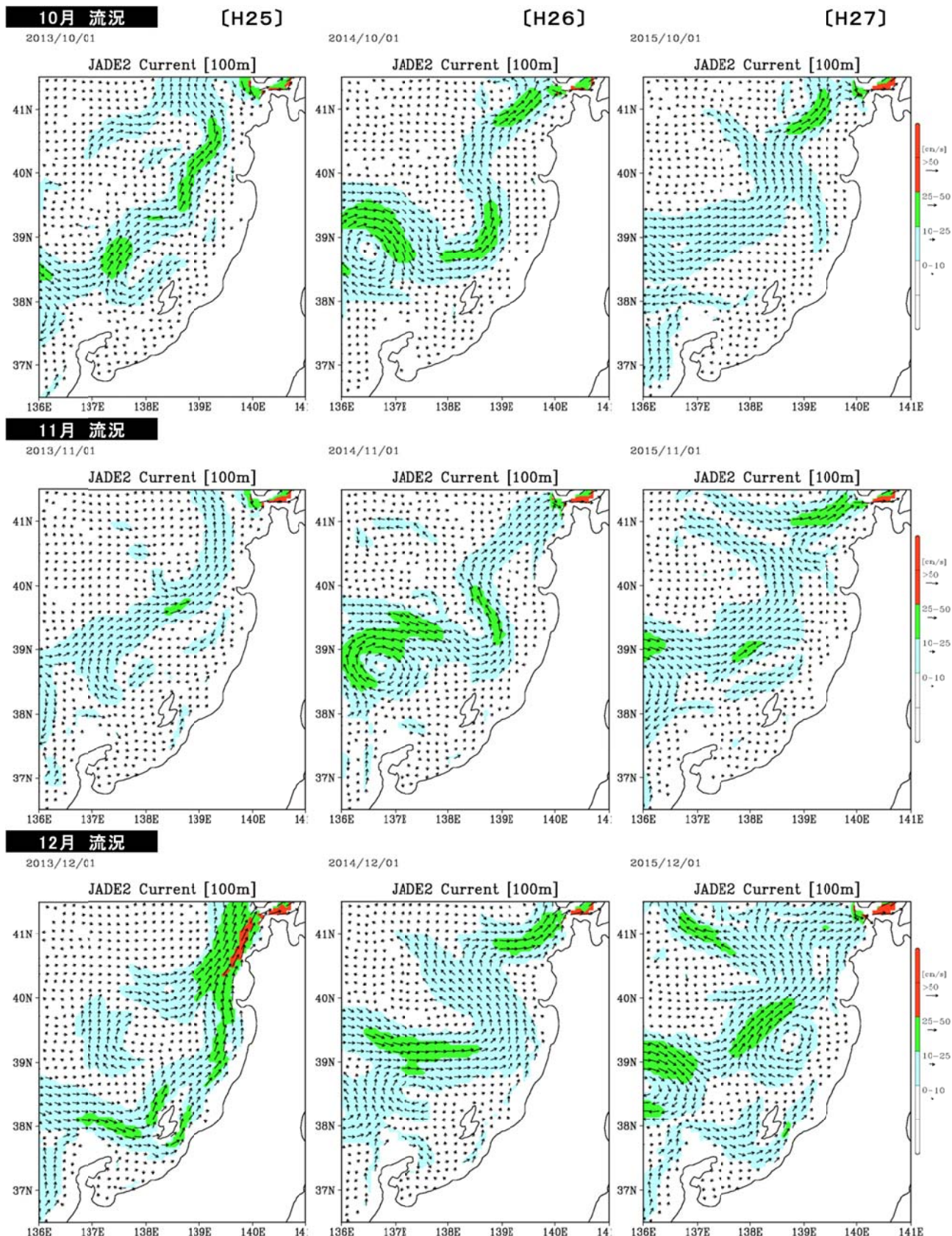


図 H25 年(左)、H26 年(中)、H27 年(右)の水深 100m 帯の流向・流速(H27 年 12 月は予想図)

●今期の流況は比較的穏やかと予想されており、本県沿岸の産卵場への来遊を妨げる可能性は低いと考えられる。